

第2章

カメラ/オーディオ/IoT/ロボット…ユニークな拡張がいろいろ!

広がるSPRESENSE ボード図鑑

響 実有 Miu Hibiki

発売から7年が経ったSpresense(ソニー)は、純正だけでなく、サード・パーティからもさまざまな周辺ボードが発売されています。ここでは、広がるSpresenseの各種ボードを紹介します。

Spresenseメイン・ボード

Spresenseメイン・ボードには、表面の2.54 mmピッチのコネクタと、裏面の100ピンB2Bコネクタの2種類のコネクタが存在します(写真1)。

表面に差し込んで使用するアドオン・ボードと、裏面に差し込んで使用する拡張ボードで挟み込むことで、Spresenseのメイン・ボードを拡張できます。

カメラ・ボードや高感度なHDRカメラ・ボード(とくにソニー製)用のコネクタも用意されています。

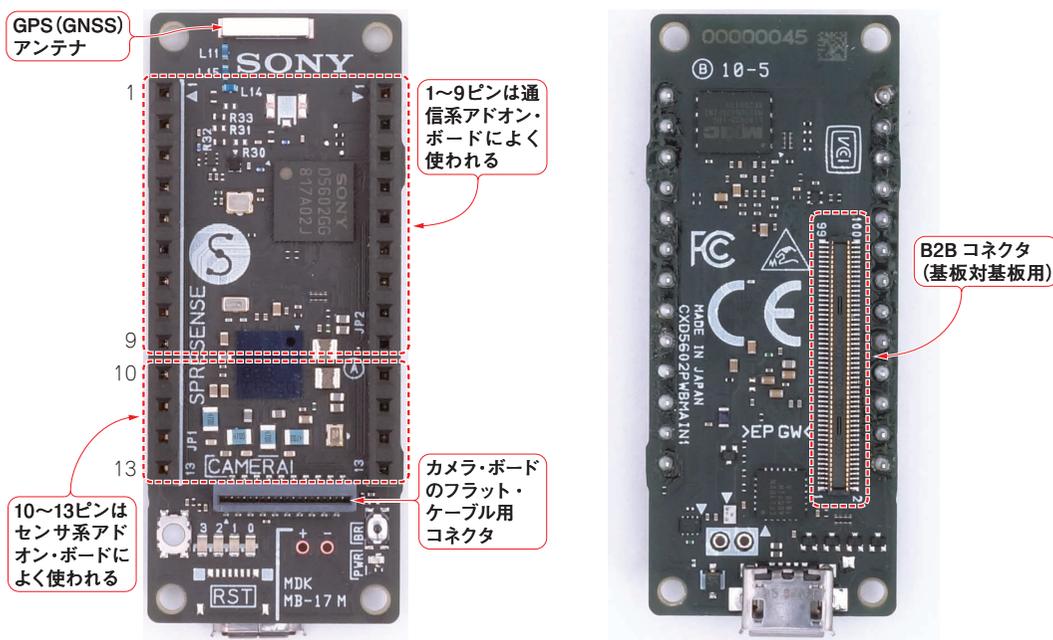
Spresenseの機能を増やす 2大「拡張ボード」「アドオン・ボード」

● 拡張ボード：メイン・ボードを使いやすくする汎用機能拡張

メイン・ボード裏面のB2Bコネクタ [写真1(b)] に接続して周囲をめぐらせる形で提供されるボードを拡張ボードと呼んでいます。

純正ボードでは、拡張ボード、LTE拡張ボードなどがあります。それほど多くはありませんが、一般販売されているサード・パーティ製ボードもあります。

● アドオン・ボード：通信系やセンサ系の機能追加
メイン・ボード表面の13ピン2.54 mmピッチのメス・コネクタに差す形で提供されているボードは、ア



(a) 表面…2.54ピッチ・コネクタ

(b) 裏面…B2Bコネクタ

写真1 Spresense メイン・ボード